

まちづくり協働推進課でインターン



前列左から長元さん、杉野さん、東海林さん



なはセン通信

Vol.110

2025年
10月号

目次

インターン受け入れ	P.1
第3回なは市民協働大学	P.2
なは市民活動支援事業	P.3
その他	P.4

問い合わせ

なは市民活動支援センター
098-861-5024
C-KATU005@city.naha.lg.jp

過去の記事



なは市民活動支援センター
ホームページQR

8月25日～29日の5日間、琉球大学と愛知東邦大学から3名のインターン生を迎え、職業体験をはじめ市民活動団体の活動現場の視察や職員との意見交換を行いました。

以下、インターンを終えた学生からのコメントです。

琉球大学 長元さん

まちづくり協働推進課へのインターンシップを通して、目標達成のために、目的となる自分の理想像と、手段となる問題状況や具体的行動を明確にする大切さを学べたことが、最も大きな経験です。

さらに、いざという時に助け合えるような関係性と仕組みを考え、市民と交流しながら協働によるまちづくりを行う楽しさを知ることができました。それが那覇市への誇りや愛着に繋がっていることを強く実感し、これこそが私のやりがいであり、人生をかけたことだと気付く

ことができました。

まちづくり協働推進課へのインターンシップ経験と職員の方々との出逢いにより、私は強く、大きく成長させていただきました。本当にありがとうございました！

琉球大学 東海林さん

今回のインターンを通して、まちづくり協働推進課の事業がどのように進められ、まちづくりの中でどのような役割を果たしているのかを学ぶことができました。さまざまな活動に参加する中で、取り組みが単に実施されるだけでなく、市民に届けられた後も職員同士で意見を出し合い、改善につなげていく様子を体感できたことは大きな学びでした。こうした体験を通して、まちづくりの広がりや可能性に触れるとともに、業務に向き合う姿勢についても学ぶことができ、自分の視野を広げる貴重な経験となりました。

愛知東邦大学 杉野さん

当初、行政は自分に向いていないと思っていましたが、自治会のことや少子化問題など身近な社会課題の解決を考えることで何か役に立てるのではないかとインターンを通じて思いました。そして、自ら積極的に行動することこそが、地域全体で行うまちづくりのあるべき姿のひとつだに関心を持ちました。さらに、那覇市まちづくり協働推進課では、様々なワークショップや講座が無償で開かれていることから、自分の好きなことや知識・経験を深めることができ、環境が整っており、市民が気軽に参加できることに魅力を感じました。

職場を実際に見て、人のためや、那覇市のために行動することは、職員の方々の「地域を思う気持ち」からくるものであり、その思う気持ちが那覇市の良さに直結しているなと思いました。

令和7年度なは市民協働大学 第3回講座

8月28日(木)、なは市民活動支援センターにて令和7年度なは市民協働大学第3回講座を開催しました。

前半では、沖縄県における戦後の児童館の歴史概要と役割について講師である国場児童館館長 山崎新氏から説明がありました。児童館は、児童福祉法が定める児童厚生施設であり、すべての子どもが無料で利用でき、保育や学童のような預かり施設ではなく、遊びや体験を通して

『こどもと地域づくりの「はじめのいっぽ」を考える』

(記事作成) インターン 長元・東海林



講師と受講生の様子

て社会性や心を育む場であることを学び、こどもが「見守られている」と実感できる関わり方やさらに地域全体でこどもの健全育成を支える姿勢について理解を深める機会となりました。

後半も引き続き山崎氏を中心に『こどもと地域づくりの「はじめのいっぽ」』をテーマに、グループワークを行いました。「やりたいこと、できそうなこと」「目的や理由、実施して味

令和7年度なは市民協働大学 についてはコチラから！

なは市民活動支援センターのホームページでは、令和7年度なは市民協働大学の詳細を掲載しています。次年度の受講の参考に、ぜひご活用ください！



令和7年度なは市民協働大学 令和7年度なは市民協働大学 令和7年度なは市民協働大学



わいたい気持ち」「誰に参加してほしい?」「誰の助けがあればできそう?」の4つの観点から受講生はアイデアを出し合

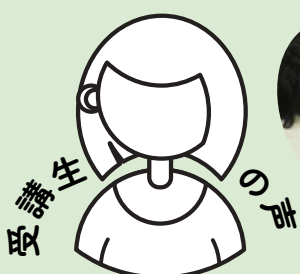
いました。前回の講座と今回の講座で得た学びから、【やってみたいこと】をワークシートに落とし込み、各チームでアイデアを深めていく姿がとても印象的でした。

ワークショップは一見「話さないといけない」「意見を言い合わないといけない」という印象がありますが、今回は自分のアイデアや思い浮かぶことを付箋とワークシートに書き出すことで、話すという行為だけではなく、「書く」ことでコミュニケーションを図るスタイルを取り入れ、多様なコミュニケーションの在り方を体感する時間でもありました。

終盤には受講生の中から1つのアイデアが全体に共有され、会場全体でそのアイデアにさらにアイデアを重ねていく場面もあり、年代や性別、職種を超えたアイデアを創出することができました。質疑応答では、「やりたいを実現するには、日頃からやりたいことを言葉にしていろんな場面で投げかけてみると、自然と一緒にやってくれる人が現れてくる」という山崎氏の言葉がとても印象的で、「やりたい」を実現することについて自らハードルを下げていくきっかけが日常のちよつとした行動の中に育まれると感じた第3回講座でした。



グループワークの様子



最高でした！新さんの取り組みを聞いていて感動でちょいちょい泣いてしまいました。『こどもまんなか』ってこういうことを言うんだなあと思いました。ありがとうございました！

なは市民活動支援事業 採択団体活動紹介

牧志3丁目自治会

まちぐあーで学ぼう 第2回防災勉強会

9月10日(水)、地域住民や企業の方33名が参加し、避難行動を学び合う「まちぐあーで学ぼう 第2回防災勉強会」が開催されました。地震や豪雨など頻発する災害に備え、「防災マップ」作成を目指して、防災座学と第一牧志公設市場周辺を散策しました。

はじめに、株式会社サンダーバードの翁長由佳氏を講師に迎え、防災についての座学を行いました。東日本大震災と能登半島地震での津波被害人数の違いは、「普段から避難訓練をしていたか」が影響していたことから、観光客が多く、道が入り組んだアーケード街では、普段からの防災意識が特に大事だと感じました。また、防災さんぽでは危険箇所や避難誘導サイン、多言語表記の案内、高い建物など避難時の目印に加え、周辺にいる人々(世代や国籍)を気にかけることが大切だとアーケード街ならではの視点が共有されました。

座学を踏まえた防災さんぽでは、第一牧志公設市場組合長の栗国智光氏の案内で、第一牧志公設市場から松尾公園、サンライズ通りを経て希望が丘公園まで歩きまわりました。アーケード街周辺は道が複雑で、老朽化した建物や、崩れかけたブロック塀など注意が必要な箇所がいくつかありました。一方で、垂直避難が可能な市場やホテル、遊技場なども近くにあることから、いかに安全に迅速に避難するか前向きな課題も見えてきました。また、観光客や外国人も多いエリアであるため、地域住民が避難経路を把握しておくことが非常に重要だと感じました。

防災さんぽの様子



10月22日(水)の防災訓練の詳細について
(時間) 16時30分集合、17時防災訓練開始
(場所) まちぐあー総合案内所ゆつくる
(問合せ) 牧志3丁目自治会 会長 矢野弘子
090-9781-0091

防災さんぽの後、参加者同士で気づいたことの共有を行い、避難場所となっている希望が丘公園や松尾公園は、どちらも到着までの道のりに階段や坂道、道幅の狭い箇所もあり、迅速な避難は難しいのではないか、アーケード街においては地震や火災での倒壊や落下の危険性があり、大雨のときは海拔が低いため、すぐに浸水してしまう懸念がある等活発な情報交換が行われていました。今後は、株式会社サンダーバード翁長由佳氏と那覇市防災危機管理課の協力のもと、「防災訓練」を10月22日(水)に実施する予定です。その後、最終的には、防災訓練を通じた気づきや今回の防災勉強会での意見を反映させて、アーケード街周辺の「防災マップ」を作成予定とのことです。多くの地元の方や観光客の安全安心を守る防災マップの完成が楽しみです。

ボランティアまっちゃんぐコーナー

那覇市人材データバンク

～那覇市のボランティアマッチング～



登録する

ボランティアをしたい方！団体！ボランティアを探している団体もまずは登録から！



団体を探す

ボランティアを募集している団体を見ることができます！どんなボランティア活動があるかチェックしてみよう！

初めてのボランティア講座

こどもの居場所ボランティア

～こども食堂や学習支援のボランティアをしてみませんか～

こどもの居場所(こども食堂、学習支援など)でボランティア活動を始めてみたい方を対象に、ボランティア活動を行うための基礎知識や心構え、運営の楽しさを学びます。後半は「こどもの居場所運営スタッフとの交流会」を予定しています！

令和7年11月13日(木)18:30～20:30

なは市民活動支援センター会議室1

対象:ボランティアを始めてみたい方

ボランティア初心者 20名

募集期間:～令和7年11月10日(月)

申込方法:下のQRコードまたはお電話でお申込み下さい。

電話番号:098-861-5024



お申込はこちら

～こども食堂や学習支援ボランティアをしてみませんか～

初めてのボランティア講座

and

こどもの居場所交流会

令和7年11月13日(木)
18:30～20:30 ※18:00受付開始
なは市民活動支援センター2階 会議室1
＜対象＞こどもの居場所でボランティア活動を始めたい方

講師
社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会
前川 三奈氏・山城 健徳氏

「こどもの居場所についての講座」と「居場所運営スタッフとの交流会」を予定しています！

こどもと大人、地域の方々とのつながりを大切にして、考え、地域と連携し、地域に開かれた居場所づくりに取り組んでいます。多様な活動を通して、こどもの居場所の魅力を高め、こどもの権利が守られる地域を目指しています。

右のQRコードからお申込みください

申込期間
令和7年9月1日(月)～11月10日(月)

なは市民活動支援センター
那覇市銘町2-3-1 なは市民活動プラザ2階
お問い合せ 電話 098-861-5024 E-mail C-KATU005@city.naha.lg.jp

なは市民活動支援センターについて



◆利用ご希望の方へ

なは市民活動支援センターの会議室等を利用ご希望の方は、「**利用登録**」が必要です（※利用審査があります）。
右のQRコードより利用方法をご確認ください。



◆施設利用料金

※1時間当たりの料金
※オンライン機材貸出可

	定員	面積	料金	冷房
会議室①	8 4 人	約200㎡	1300円	400円
会議室②③	8 0 人	約200㎡	1300円	400円
会議室③	3 0 人	約100㎡	650円	200円
会議室④	8 人	約40㎡	200円	100円
会議室⑤	1 2 人	約30㎡	200円	100円
会議室⑥	1 2 人	約30㎡	200円	100円
会議室⑦	5 人	約30㎡	200円	100円
会議室⑧	2 0 人	約45㎡	250円	100円
研修室①	1 6 人	約30㎡	200円	100円
研修室②	1 6 人	約30㎡	200円	100円

◆開館時間、休館日

月・火・木・金	9：00-21：00
水・土・日	9：00-17：00
休館日	年末年始・慰霊の日

◆駐車場

なは市民協働プラザ地下駐車場（駐車台数：39台）
メカルパーキング（駐車台数：70台）
※なは市民活動支援センターをご利用の場合、駐車料金は減免の対象となります（例：2時間100円、3時間200円）

フードドライブやってます！

フードドライブとは、お中元などで、ご家庭で賞味期限は切れていないが保管されたままになっている“もったいない食料品”を、なは市民活動支援センター利用登録団体の困窮支援・女性支援・子ども食堂を運営している団体へお渡しする活動です。

「もったいない」から「ありがとう」へ変えていきませんか？



ご注意 いただきたいこと

1. 賞味期限が明記され、かつ6か月以上あるもの
2. 常温で保存が可能なもの
3. 未開封で、中身に問題がないもの

ご寄付 いただきたい食料品

お米、乾麺、缶詰、瓶詰、インスタント、保存食、など



10月11日(土)
11時～15時

@なは市民活動支援センター
1階ピロティー



毎月第2土曜日は、なは市民活動支援センター1階ピロティーでつながるマーケットを開催！
県内中から美味しいやテシゴトが銘苅に集まります！
家族・友人を連れてぜひご参加ください

よろず相談

市民活動、NPO設立・運営等に関する相談サービスです。相談ご希望の場合は、下記のQRコードより、ご予約下さい

【水・木・土】
10：00～17：00
【火】
14：00～20：00



申し込みフォーム